

キッズデザインの取り組み～ 「安全な妊娠、出産、子育て支援」の視点からの提案

2015. 2. 17
特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会
理事 高橋義則

キッズデザインの3つのミッション

キッズデザインは、下記の3つのデザインミッションを目指している。

子どもたちの
安全・安心に
貢献するデザイン

子どもの身体特性や行動特性、不測の状況が子どもにもたらす影響などに配慮し、技術や素材においてもその応用・活用が優れているデザイン。

子どもたちの
創造性と未来を
拓くデザイン

子どもの創造力を喚起・進化させる仕掛けや、身体的・精神的発育に対して新たな提案、子どものコミュニケーション能力、表現能力を高める工夫が施されているデザイン。

子どもたちを
産み育てやすい
デザイン

子どもの安全を確保し、かつ、親(大人)の身体的・精神的負担の軽減や、出産・育児を安心して、楽しく行うための配慮がなされているデザイン。

キッズデザイン協議会とは

子どもたちの安全安心の向上と健やかな成長発達に役立つデザインを普及啓発するために、企業中心に産官学民が集いあったNPO法人。

・発足:2006.5.15 ・NPO化:2007.4.2

・会員:93 (2015.1月現在)

企業:56、団体:4、自治体:21、連携機関:12



調査研究活動



広報活動



顕彰活動



顕彰活動：キッズデザイン賞

表彰式の風景



受賞作品集(コンセプトブック)



- ・キッズデザイン賞の目的は、キッズデザインの理念を実現している優れた商品やサービスに対して、社会的、文化的な見地から公正な評価を与え、その顕彰を通じて、産業・研究活動と子ども環境の高度化を図ること。
- ・キッズデザイン賞の応募対象は、乳幼児用品や玩具などの子ども向けの製品、サービスに限らず、大人向けのものでありながら、子ども目線を持った、良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動など。
- ・キッズデザイン賞の応募審査は、年に1度、3月に応募受付を開始し、6～7月上旬で審査、結果発表。上位賞は8月発表。
- ・これまでに8回を実施し、延べ1500点以上の作品が受賞している。

広報活動

キッズクリエイイトTOKYO2010 幕張



地方巡回展2010 神戸



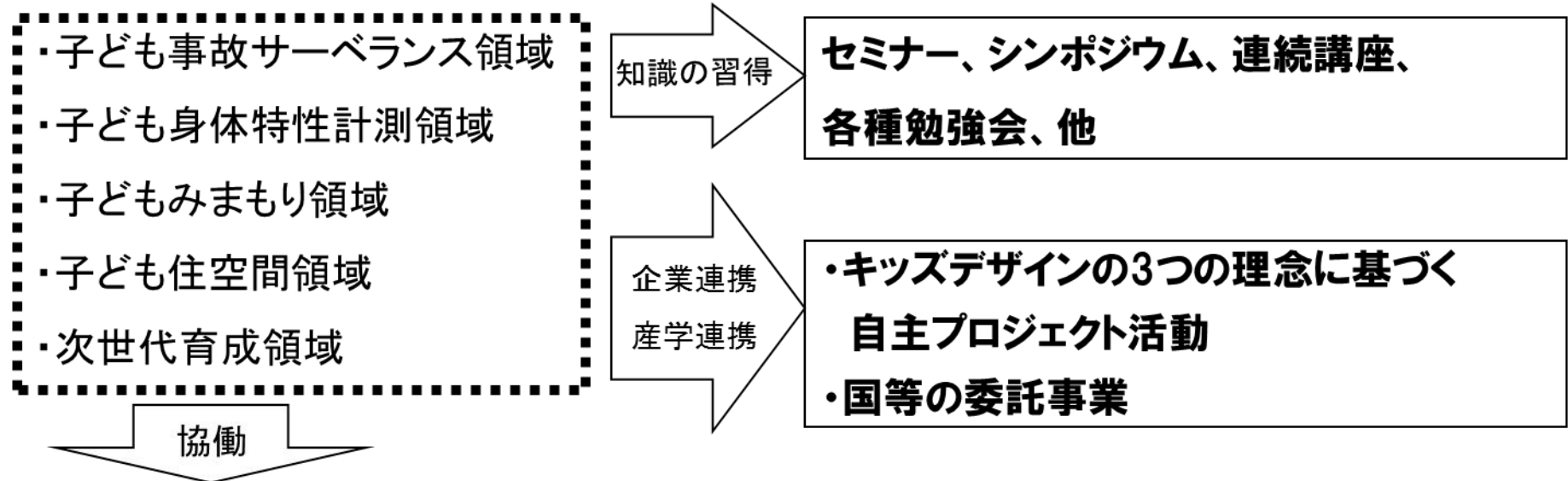
キッズデザイン カフェ 2010 六本木ヒルズ



地方巡回展2009 川崎


A screenshot of the Kids Design Association website. The website features a green and white color scheme. At the top, there is a banner with the text '1億2700万人のキッズデザイン! KIDS DESIGN ASSOCIATION'. Below the banner, there are several sections, including a 'キッズデザイン・ラボ' (Kids Design Lab) section with a green circle and a white 'K', and a 'キッズデザイン・図鑑' (Kids Design Encyclopedia) section with a photo of a woman. The website also includes a 'ホームぺージ' (Homepage) section with the text 'キッズデザイン=みんなのデザイン' (Kids Design = Everyone's Design) and '「1億2700万人のキッズデザイン」' (127 million Kids Design). At the bottom, there is a URL: <http://www.kidsdesign.jp/>.

調査研究活動



施設クリニック

・2008年: 六本木ヒルズを実施。様々な専門性を持つ協議会メンバー約40名が調査員となり、建築チーム、子どもの視点チーム、防犯チームなど、6つのチームに分かれ、六本木ヒルズ内を調査しました。子どもの視点チームでは、ベビーカーに子どものダミー人形を乗せたり、カメラを取り付けたりして、子どもの目線で施設内の安全を検証しました。



・2009年: 東京学芸大学附属小金井小学校、幼稚園 ・2010年度: 日本科学未来館

品質向上へ向けた活動：CSD認証制度

2013年10月に開始したCSD (Child Safety through Design) 認証制度は、実際に起きた子どもの事故情報等に基づき、子どもたちの安全性ガイドラインを遵守する、キッズデザインプロセスを導入し、循環させることで安全性を高めていることを認証します。2014年3月に第1号として4点(4社)が認証されました。



積水ハウス株式会社
積水ハウスのキッズでざいん
「コドモイドコロ」



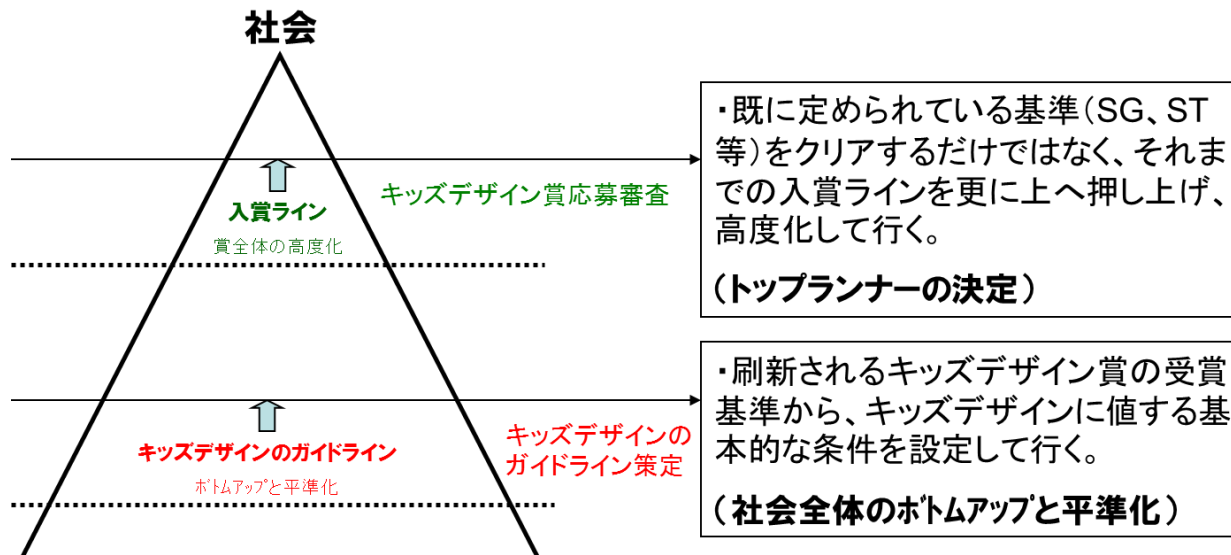
株式会社ジャクエツ環境事業
JQ遊具安全規準に基づく遊具の
設計プロセス



セコム株式会社
ココセコムを活用した子ども
を見守るサービス



日本自動ドア株式会社
スライド式自動ドア開閉装置の設計・開発
プロセス及びスライド式自動ドアの施工・
保守・メンテナンスサービスの設計・開発プ
ロセス



キッズデザイン賞受賞作の事例から



安全・安心に貢献するデザイン（製品系）



●蒸気レスIHジャー炊飯器(三菱電機株式会社)

●キッズデザインのポイント

- ・世界初の蒸気レスIH炊飯器。
- ・子どものやけど防止、収納家具の中においたまま蒸気で傷めることもなく炊飯できる省スペース化、美味しさの向上等、複数のメリットを同時に達成している。



●指はさみ防止配慮の開き戸 （フィンガーセーフドア） （大和ハウス工業株式会社）

●キッズデザインのポイント

- ・子どもの指つまめ防止として、金物の回転軸と建具の回転軸が同心円状で回転する構造とし、隙間を5mm以下に。
- ・足元の指はさみ防止としても、下部に樹脂のカバーで覆って、厚みのない子どもの足が入らないようにしている。

安全・安心に貢献するデザイン（製品系）



●チャイルドセーフティータッセル・房掛 （立川ブラインド工業株式会社）

●キッズデザインのポイント

- ・就寝時の乳児のカーテン紐による首つり事故が問題視された背景から発案。
- ・一定の力が掛かると先端マグネット部が外れるタッセルや後付けが簡単にできる房掛で事故を防止する。



●転倒流水構造つき蒸気レス電気ケトル （タイガー魔法瓶株式会社）

●キッズデザインのポイント

- ・急速な普及に伴い、電気コードの引っ掛けによるケトルの転倒、やけどの事故が増加。
- ・完全蒸気レスで熱い蒸気を出さないほか、倒してもお湯がこぼれにくい構造、触っても熱くなりにくい本体など安全対策が万全。

子どもを産み育てやすいデザイン（製品系）



●チャイルドシート「ネルーム」シリーズ （コンビ株式会社）

●キッズデザインのポイント

- ・軽量化や子どもの成長に合わせた可動式ヘッドレスト、衝撃吸収構造など、細部にわたる安全設計。乳幼児連れの自動車での外出に貢献する。
- ・増加する軽自動車にも対応する小型敬次両化により普及可能性が高い。

授乳室・おむつ替え検索地図アプリ



●ベビ★マ - 授乳室・おむつ替え検索地図アプリ （インターリンク株式会社）

●キッズデザインのポイント

- ・授乳室とおむつ替えスペースの2つのみに絞り、最寄の場所を検索できるシンプルで機能的なインターフェイス。
- ・ユーザーが情報を登録でき、親同士が情報をシェアすることで、みんなが安心してお出かけできる環境を作り上げる。

子どもを産み育てやすいデザイン（製品系）



●ドクターベッタ哺乳びん ブレイン （株式会社ズーム・ティー）

●キッズデザインのポイント

- ・小児科医が考案した、ミルクが耳管に流れ込む事故を防ぐ形状。母乳を飲む時と同じ姿勢で乳児に授乳できる。
- ・さらに助産師と共同開発した咀嚼してミルクを飲む設計の「ブレイン乳首」を装着。母親の乳首に近く、噛むことであごの発達を促し、唾液の分泌も進み、満腹感を与える。



●皮膚体温計H20 チビオンTouch （ピジョン株式会社）

●キッズデザインのポイント

- ・お母さんが手のひらで子どもの熱を見るように、わずか1秒、額に当てるだけで子どもの体温を測る体温計。
- ・操作も簡単で、気軽に毎日測れることから、平熱を知り、子どもの体調の変化に気づきやすくなる。

子どもを産み育てやすいデザイン（建築空間系）

●子どもの生きる力を育むまち 子育て世帯応援タウン
～ニッケガーデンコート花水木～
（積水ハウス株式会社）



●キッズデザインのポイント

- ・子どもが安全に生活できる賃貸住宅で構成された90世帯のまち。子育て賃貸モデルの好例。
- ・住人同士のコミュニティを促す仕掛けや、周辺住民への敷地の開放、中庭の子どもを見守る配棟計画、最新の建物性能等、母親の育児ストレスを軽減させるアイテムが随所に盛り込まれている。

●「産院が街をつくる」ファミリー産院 君津
（医療法人社団マザー・キー ファミール産院 君津／株式会社ドムスデザイン）



●キッズデザインのポイント

- ・出産施設のなかった同市に産院を開設し、里帰り出産や子育てコミュニティを提案する、地域の少子化対策の模範ともいえる取り組み。
- ・空間としては待合室を中心にコミュニティ機能を持たせ、人が集う場を実現した。敷地内には畑もあり食育の視点もある。

子どもを産み育てやすいデザイン（建築空間系）



●中央区立京橋こども園 （清水建設株式会社）

●キッズデザインのポイント

- ・緑多い外観、子どもの声が聞こえそうなガラス張りの空間など都市部の良質なモデルとして、印象的で機能的な建築。
- ・都市再生特区の指定を受けた新本社の公共貢献施設として建設、待機児童解消と災害時支援機能を担う。ビジネス街における認定こども園と一時預かり保育の子育て支援事業の良質なモデル。



●子育てコミュニティ活動

（株式会社 阪急阪神百貨店 西宮阪急）

●キッズデザインのポイント

- ・フロアを開放し、こどもの健全な成長をサポートする「子育てコミュニティ」を開設し、育児サポート型ワークショップを日々開催。
- ・地域の子育て層のサロンになり、コミュニティの進化とともに、循環型ビジネスを実現。

子どもを産み育てやすいデザイン（活動・ワークショップ系）



●スミセイアフタースクールプロジェクト

（住友生命保険相互会社／特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール）



- ・支援が少なかった地域の学童保育等にスポットをあて、全国の学童保育等を支援する為の事業として開発。
- ・モデルプログラムの全国各地での開催と、ネット上でのプログラムの動画配信・プログラムスライドやペーパークラフト等各種ツールの無償提供を行なう。



●託児ルーム併設歯科医院の取り組み

（みどりの丘歯科医院／こどものへや ぶどうの木）



- ・歯科医院が専任の保育士を置く託児ルームを併設、各種教室やイベントを行なうことで地域コミュニティの再構築を目指している。
- ・空間は中でつながっており、歯科を利用する人以外にも地域交流の拠点となった。

参考資料：子どもの事故実態と関連する情報について

●子どもの死因順位（平成24年）

	1位	2位	3位	4位	5位
0歳	先天奇形、 変形及び染 色体異常	周産期に特 異的な呼吸 障害等	乳幼児突然 死症候群	不慮の事故	胎児及び新 生児の出血 性障害等
1-4歳	先天奇形、 変形及び染 色体異常	不慮の事故	悪性新生物	心疾患	
5-9歳	不慮の事故	悪性新生物	先天奇形、 変形及び染 色体異常	その他の新 生物	肺炎

（出所）厚生労働省「平成24年人口動態統計」

・日本国内において、0～9歳の子どもの死因順位は常に「不慮の事故」が上位に来ており、死亡に至らずとも緊急搬送や重篤な後遺症につながる事故はこの数十倍～数百倍と推測される。

●「不慮の事故」による子どもの年齢・原因別の死亡数（平成24年）

	0歳	1～4歳	5～9歳
総数	93	123	103
交通事故	1	47	43
転落や転倒	2	10	4
不慮の溺死・溺水	7	32	30
不慮の窒息	77	23	8
煙・火・火災への曝露	-	8	13
その他	6	3	5
総数（除、交通事故）	92	76	60

（出所）厚生労働省「平成24年人口動態統計」

・事故予防については、家庭内のみならず、子育ての外部化が進むなかで複数の子ども、異年齢の子どもが混在する環境の拡大、人的見守りの限界なども想定され、早急な対策が求められる。

子どもの救急搬送人員は増加している



過去5年間の子どもの救急搬送人員

平成19年から平成23年までの5年間に43,263人の乳幼児が救急車で病院へ運ばれている。

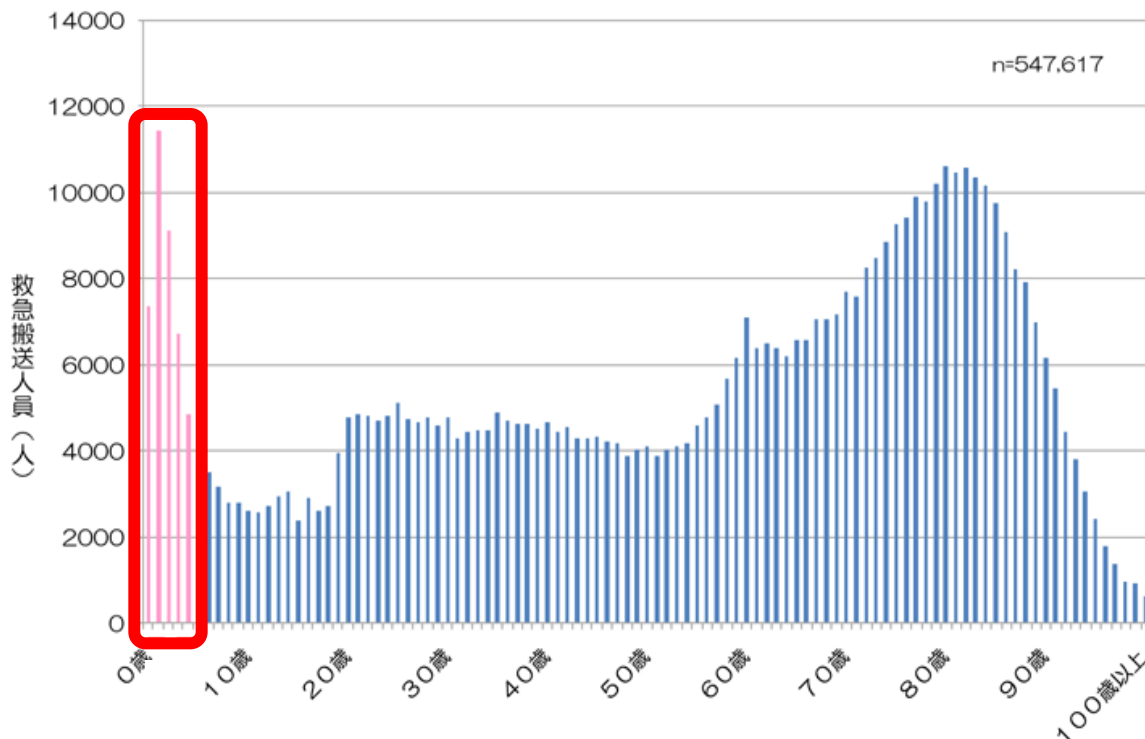


図1 日常生活の中での事故による救急搬送人員

過去5年間の子どもの事故発生状況

0歳から5歳の乳幼児の事故の救急搬送は、過去5年間で平成25年は過去5年で最も多くなった。

年	救急搬送人員(人)
平成 21 年	8,392
平成 22 年	8,407
平成 23 年	8,616
平成 24 年	8,840
平成 25 年	9,306
合 計	43,561

出典:「東京消防庁」